

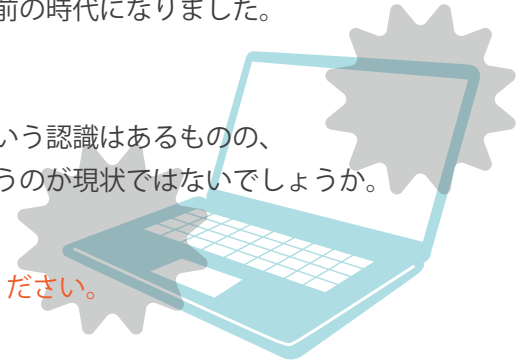
あんしんセキュリティ

ネットワークの脅威

インターネットをはじめ、企業が情報通信ネットワークを活用することは当たり前の時代になりました。社内、社外を問わずネットワークが張り巡らされ、利便性が向上した反面、ネットワークを介した様々な脅威にさらされるようになりました。大切なデータやシステムを守るため、セキュリティ対策をしなければならないという認識はあるものの、実際には何をしたらよいかわからない、今の対策で十分なのかわからない、というのが現状ではないでしょうか。

ネットワークの脅威は身近に存在します。

「あんしん」してネットワークが利用できるよう、セキュリティ対策を実施してください。



主な要因

物理要因



外部要因



内部要因



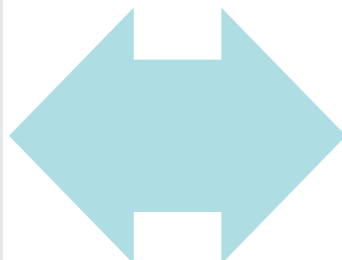
管理要因







あんしんセキュリティで さまざまな脅威に備えましょう！

要因

-  物理要因
-  外部要因
-  内部要因
-  管理要因



対策

-  データセンターの利用
-  UTM の導入
-  ウイルス対策ソフトの導入
-  スタッフ教育の実施

詳しい対策方法は裏面をご覧ください



脅威への対策方法

対策



天災・劣化などによる物理的な脅威への対策

データセンターの利用

地震等の天災や経年劣化はサーバーをはじめとする機器の故障を引き起こし、データの損失や業務の滞りに直結する非常に大きな脅威です。サーバーなどの重要な機器は二重化を施したり、データセンターに設置することで脅威に備えましょう。データセンターは地震、火災、停電に備えた構造をもち、温度、湿度を一定に保ち、防塵にも配慮したクリーンな環境を提供します。設置場所が事務所から離れてしまうことによるレスポンスの低下も高速なVPN（仮想プライベートネットワーク）通信を採用することで最小限にとどめることが可能です。

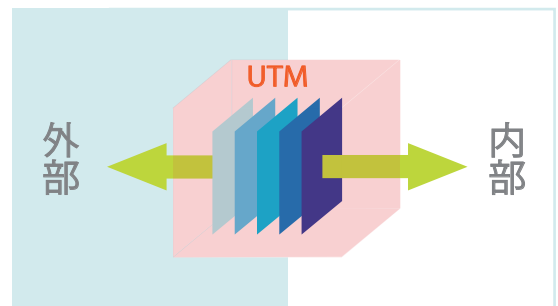
対策例：あんしんデータセンター、あんしんサーバー、SVPN

ネットワークの侵入や不正アクセスなどの外部からと外部への脅威の対策

UTM(統合脅威管理)の導入

ネットワークに対する攻撃手法は複雑化、多様化の傾向にあり、これに個別に対処することはコスト面でも管理面でも現実的ではありません。そこで各種セキュリティ機能を集約したUTMを外部との接続点であるネットワークの出入り口に設置することが効果的です。

対策例：FortiGate



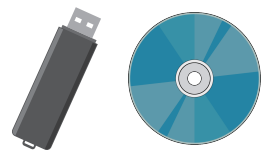
コンピュータウイルスなどの内部から発生する脅威の対策

ウイルス対策ソフトの導入

UTM(総合脅威管理)は出入り口を固める効果がありますが、だからといって端末側の対策も疎かにしてはいけません。

USBメモリ等の外部記憶装置からもウイルスは侵入してきます。端末は外から見れば幾重もの防壁に守られているように見えますが、内から見れば最前線にあることを忘れてはいけません。

対策例：ESET、ウイルスバスター



情報漏洩や操作ミスといった管理上の脅威への対策

スタッフ教育の実施・管理ソフトの導入

どんなに素晴らしい対策を施したとしても悪意を持った人間の行動には勝てません。そのためスタッフひとりひとりがセキュリティに対する意識を持っていただくことが重要です。スタッフ教育を行うことで悪意のある者の侵入や行動を監視、察知する環境を作り、セキュリティに対する意識向上を促します。

また、データへのアクセス記録、端末や機器の操作記録といったログを収集すること、収集していることを周知させることでより緻密な管理体制が構築できます。

対策例：SKYSEA、社員教育セミナー

※本パンフレットに掲載されている対策例は、各社の商標、または登録商標です

お問い合わせ先
株式会社システムクス

TEL 053-597-0100

Mail s-info@systemix.jp

URL <http://systemix.jp/>

